

## 【活動テーマ/テーマ設定背景】

- テーマ：身の回りがあるかがくってなんだろう？
- 設定背景：日常の中にある現象に対して、「なんで？」と思うことが増えてきた子どもたち。活動を通して身近にある現象に興味を広げてもらいたい。

## 【活動のために準備した素材や道具、環境の設定】

科学の専門講師を招聘。子ども達のなんで？を引き出すために、目に見えない“空気”に目を向けるように、空気を入れ、膨らませたビニール製のロケットを飛ばせるようなスペースを確保した。

## 【活動内容/お子さまの声や姿や保育者との関わり】

ビニール袋をロケットに見立て、膨らませ方や飛ばし方を工夫する活動を行った。

「どうすれば高く飛ぶかな？」「横向きだと飛ばないね」と子ども同士で話し合ったり、勢いよく飛んだ様子に歓声をあげたりと、発見の喜びを感じている様子が見て取れた。

「帰ったら家族にも教えてみる！」など身近にある科学の不思議により興味を持った様子であった。



## 【振り返りをふまえた気づき】

### ●振り返りによって得た先生の気づき

普段の風船の形状とは違い、細長く感触の違いなども楽しむ事が出来ていた。

ストローを使用し、自分で空気を入れる事も行い風船遊び時に自分で空気を入れようと興味を持つ姿が見られた。

細長い形状の方が、普段の丸い風船より遠くに飛ばす事が出来る事を知り、空気抵抗について考える良い機会となった。